

とるべきポジションの声明

作業療法士は、すべての人の作業的公正の実行における人権にかかわる。作業的公正は、作業に対する普遍的な権利を求め、広く定義されるもので、文化、社会、政治(現在および歴史的)、地理的状况に関連する違いを認めるものである。作業的公正は、すべての人が作業に結びつく権利を十分充足することであり、その作業とは生きるために必要なもので、意味があり当事者自身の幸福*と当事者のコミュニティの幸福にポジティブな貢献をするものである。

(*訳者注:この文書では well-being を幸福と訳した)

作業的公正は、次のような作業権をすべての人に求める。

- 生きること、健康と幸福をサポートするような、ある範囲の作業に参加する。それにより、全住民、コミュニティ、家族、個人は、自らの潜在力を実らせ認めることができる。オタワ憲章¹と一致する。
- 圧力、権力、強制、恐怖なく作業を選ぶ。しかし、他者や生活や地球への責任を踏まえての選択を行う。
- 安全性、人としての尊厳、平等性のリスクなしで、必要性があって選択した作業に自由に結びつく。

作業療法にとってのポジションの重要性についての声明

作業的不公正は、作業権と人権の侵害である。この権利は、国連が世界人権宣言(1948)²で定義し、国連が経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約(1966)³と市民的及び政治的権利に関する国際規約(1966)⁴により保護されるものである。

世界中の作業療法士には、人権の実現として作業権を推進する義務がある。この義務は、作業的不公正を指摘することを含む。まず、2000年に命名された作業剥奪、作業不均衡、作業周縁化、作業疎外である。最近追加されたものとして作業アパルトヘイト(隔離)がある。

作業権は、社会において個人、コミュニティ、全住民のための選択のための潜在能力⁵、機会、自由を特定したり、強調したりすることによって、守られる。

作業療法士には、虐待を経験している人と協働したり、作業的公正を弱体化させる虐待を根絶しようとしている多様なパートナーたちと協働したりして、クライアント中心の志を実行する義務がある。

社会にとってのポジションの重要性についての声明

WFOTは1948年の世界人権宣言を実行し、人権保護に作業権の保護を一致させる。作業権と人権を守る行動は、作業的不公正を変えなければならない。作業的不公正は、社会的問題、持続する極度の貧困、経済の縮小、疾病、社会的差別、避難所生活、自然災害や人災、戦闘、歴史的不利、身体的精神的健康不良により悪化する。

要約と結論

健康になるような作業に参加する、自分にとって意味のある作業を選ぶ、必要があり選んだ作業に自由に結びつくための人々の作業権を守ることは、公正でインクルーシブな社会の基盤である。作業権の侵害は人権侵害であり、こうした侵害は作業的公正を弱体化させる。

1. World Health Organization. Ottawa Charter for Health Promotion, 1986. Available from: http://www.euro.who.int/data/assets/pdf_file/0004/129532/OttawaCharter.pdf [Accessed 20th July 2019]. 池田光穂訳: オタワ憲章 1986. <https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/user/rosaldo/140611OttawaCharter1986.html>
2. United Nations. Universal Declaration of Human Rights, 1948. Available from: <https://www.un.org/en/universal-declaration-human-rights/index.html> [Accessed 20th July 2019] アムネスティ日本訳: 世界人権宣言(全文). https://www.amnesty.or.jp/human-rights/what_is_human_rights/udhr.html
3. United Nations. International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights, 1966. Available from: <https://www.ohchr.org/Documents/ProfessionalInterest/cescr.pdf> [Accessed 20th July 2019].
4. United Nations. International Covenant on Civil and Political Rights, 1966.

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-and-human-rights>

(2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)

Available

from:

<https://www.ohchr.org/EN/ProfessionalInterest/Pages/CCPR.aspx> [Accessed 20th July 2019]. Sen, A. Development as capability expansion. In: Fukuda-Parr S, et al. Eds. Readings in human development. New York, NY: Oxford University Press, 2003.

Available

from:

http://morgana.unimore.it/Picchio_Antonella/Sviluppo%20umano/sviluppo%20umano/Sen%20development.pdf

執筆者

Professor Clare Hocking (New Zealand)

Emeritus Professor Elizabeth Townsend (Canada)

Jenni Mace (New Zealand)

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-and-human-rights>
(2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)